

都内私立中学高等学校
校 長
理科担当教諭 殿
関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 平方 邦行
理数系教科研究会委員長 武藤 道郎
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

理数系教科研究会（理科・化学）「講演会・パネルディスカッション」のご案内
「工学の魅力とこれからの理科教育の在り方」
～化学や理科全般にかかわる実験・研究を例に～

※物理・生物・地学・情報をご専門の方も是非ご参加ください。

新春の候 先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、東京大学メタバース工学部において工学分野の教育研究の普及・促進のために活動されている脇原徹教授（東京大学 工学系研究科化学システム工学専攻）をお招きし、理数・情報全般にわたる工学の魅力やその教育、人材育成の必要性、また化学工学を中心とした具体的内容（ゼオライト研究や環境・エネルギー問題など）についてお話し頂きます。また、学校教員による実験や探究、研究といった教育活動の事例紹介やパネルディスカッションも予定しております。

具体的な科学内容、実験や探究テーマなどをご提示しながらも本テーマとして掲げる「これからの理科教育の在り方」について、皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

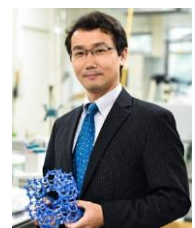
記

1. 日 時 令和6年2月22日（木）18：00～20：00（受付開始17：30～）
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室（千代田区九段北4-2-25）
3. 内 容 工学の魅力とこれからの理科教育の在り方
～化学や理科全般にかかわる実験・研究を例に～
4. 講 師 脇原 徹 先生（東京大学大学院工学系研究科 教授）

演題『工学を学ぶ意義～ゼオライトの研究開発を通じて得た視点より～』

【講師プロフィール】

東京大学大学院工学系研究科 教授。
環境・エネルギー分野で多くの問題を解決するゼオライトに代表されるナノ多孔材料、各種セラミックス材料の基礎から応用まで幅広い研究に取り組む。



※中高における事例紹介（各 10～15 分程度）

①開成中学校・高等学校 小松 寛 教諭

『高校化学と化学工業』

②広尾学園中学校・高等学校 小島 雄紀 教諭（当研究会委員）

『広尾学園での工学分野の研究活動の取り組みとその意義』

5. 定 員 50名（申し込み順⇒定員になり次第締め切ります）

※工学の視点に立った研修となりますので、化学に限定せず理科・情報全般の様々なご専門の先生に参加頂ければ幸いです。

6. 参加費 無 料（当協会会員各校の拠出金と（公財）東京都私学財団からの補助金で運営しております）

7. 申込方法 2月14日（水）までに東京私学教育研究所 HP よりお申し込みください。

URL <https://k.tokyoshigaku.com>



8. 委員名（支部・学校名）

委員長 武藤 道郎（② 芝）

委員 久保田 港（② 芝） 小島 雄紀（②広尾学園）

長田 学（③桐朋女子） 熊澤めぐみ（⑦香蘭女学校）

東京私学教育研究所 理数系教科研究会（理科・化学）

担当：松田・細川

TEL 03-3263-0544

台風の接近、豪雨などによる天候の悪化や各種災害、新型コロナウイルス感染症への政府方針変更などにより、実施方法（オンライン研修を含む）・プログラムの変更や中止（延期）となる場合があります。

《会場案内図》



■交通のご案内



地下鉄 有楽町線 南北線
市ヶ谷駅（1またはA1）出口



地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅（A4またはA1）出口



JR 中央線（各駅停車） 市ヶ谷駅

上記改札・出口から徒歩約2分



ご案内 下記の研修会も現在、参加受付中です。詳しくは研究所ホームページをご確認ください。

研究会・研修会	テーマ・内容	日時	会場
理数系教科研究会（理科） 令和5年度「理科教育研究発表会」	7名の発表者による理科教育広 範囲にわたる活動の発表会	2/19（月） 18:00～20:30	アルカディア市ヶ谷
プロジェクト部会 「傾聴入門講座」	傾聴を用いた関係性づくり	2/29（木） 18:00～20:00	アルカディア市ヶ谷
学校づくり研究会 〈モヤモヤリフレクソロジー〉	学校教育と AI ～ChatGPT などの AI との共存の仕方～	3/9（土） 14:00～16:30	アルカディア市ヶ谷